

Makuhari's Memory

市町村アカデミーの研修を振り返って

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、市町村アカデミーの研修も4月から中止されるなか、緊急事態宣言解除後の6月29日から7月3日までの5日間で「児童虐待防止対策」研修は行われました。例年であれば、定員60名にキャンセル待ちが出るほどの研修が、今回は17名の参加で開始されました。

今回、感染予防のため1日目の情報・意見交換会は中止、また昼食時や夕食後も密にならないようにと机や椅子を制限されており不安で一杯でしたが、終わってしまえば、「あっという間、大変濃厚で有意義な5日間」というのが正直な感想です。

グループ演習では、同規模の自治体でのグループ分けで、各グループとも具体的・実践的な討論が行えたと思います。私たちのグループは、事務職・社会福祉士・保健師と職種も経験も違うメンバーが、「こどもの安全安心のために一要保護児童対策地域協議会の効率・効果的な運営方法」について、それぞれの視点で各市の取り組みや課題を

討論することで、要対協の在り方を協議することが出来ました。また、講義も各分野からの専門家からの知見をご教授いただき、大変勉強になりました。今回のこのような時期ではありましたが、研修に頑張って参加させていただき本当によかったと思います。

最後になりますが、講師の皆様、担当の西田教授、副幹事、座長及びクラスの同期生の皆さん、また、快く送りだしてくださった職場の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



久保田 あずさ

兵庫県芦屋市
こども・健康部子ども家庭総合支援室担当主幹
〈受講研修科目〉
児童虐待防止対策
第34期第1組（令和2年度）